



春の訪れを告げる梅の花のように、明日への希望と共に一人ひとりが、大きく花をさかせるようにという願いを込めた「令和」も3年となり、1月も終わり、2月となります。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、緊急事態宣言も出されました。毎日、テレビから流れる感染した人の数字もなかなか減りません。厳しい寒さの後に、暖かい春が訪れるようにコロナもどこかへ飛んでいってくれることを願うばかりです。そんな中でも、元気いっぱいな子どもたち。でも、低温・低湿の冬は、かぜウイルスが大好きな季節です。かぜを寄せつけないしょうぶな体作り、環境作りに気を配り、寒い冬を元気に乗り切りましょう。

いぬかいこども園 病気状況

こども園では、1月中旬過ぎに嘔吐・下痢症状の胃腸炎が発生いたしました。主に0歳児クラスの子どもたちに感染いたしました。便からは1か月近く菌が排出されることがあります。入念な手洗いを引き続きお願いいたします。嘔吐や下痢で体内の水分が失われ脱水症状にならないように、湯冷ましなど水分補給を心がけましょう。

ノロウイルスは、アルコールでなく、次亜塩素酸ナトリウム（家庭用ハイター）などで処理を行い、感染を広げないように注意しましょう。

吐物処理のポイント

- ① 作業員自身が感染しないこと
- ② 汚染をひろげないこと
- ③ 消毒は、確実に行うこと

感染源のある部屋での処理は、消毒液等のガスを吸い込まないように換気を十分におこなひましょう。



1月21日(木)に園医検診がありました

内科は、いぬかい児玉医院。

歯科は、杉山歯科です。

歯科治療等のある子は、治療を行ひましょう。



毎日ていねいに歯みがきしています♪



節分という言葉には「季節を分ける」という意味があるのだそう。昔の日本では、春は一年のはじまりとされ、特に大切にされたようです。節分といえば豆まきですね。1年の無病息災を願ってまく豆まきですが、思わぬトラブルを招くことがあります。小さい子どもは、かみ砕いたり飲み込んだりする力が不十分なため、豆が気道に入りやすく、肺炎を起こすことも。また、気道が狭いので窒息した例もあるそうです。

小さな子どもがいるご家庭では、小分け包装された節分用の豆を袋ごとまいて楽しむという方法もあります。また後の掃除が簡単に出来て、小さな子どもが豆を食べてしまうリスクを減らすことができます。

消費者庁は、

5歳頃までは硬い豆やナッツ類等を食べさせないと、呼び掛けています。気をつけましょう。



2月の身体計測

2月16日(火) 未満児

2月17日(水) 以上児

※お薬についてのお願い

園で服薬するお薬について、薬袋に氏名が印字されていない場合は、必ず名前の記入をお願いいたします。